

I. 褐色森林土大群

火山灰の影響の少ない山地・丘陵地を代表する黄褐色の次表層位をもつ土壌。本土壌は山地、丘陵地に広く分布するほか、北海道・東北地方では洪積台地にも分布する。

群としては、「褐色森林土」のみが設定されている。

亜群には、「水田化」、「湿性」、「塩基型」、「ばん土質」、「腐植質」、「ポドゾル化」、「下層赤黄色」、「台地」および上記以外の「普通」がある。

土壌統群は、土性により4区分される。



I
褐色森林土

北海道余市郡仁木町の斜面林

I1 褐色森林土

代表的な土壌断面
(普通褐色森林土亜群)



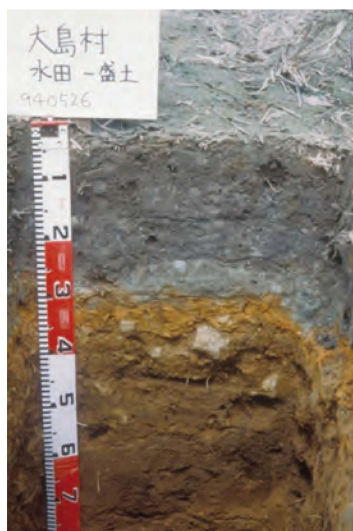
褐色の風化変質層

I
褐色森林土

礫質普通褐色森林土
北海道岩見沢市 [モノリス13]

I1 褐色森林土

様々な褐色森林土群（その1）



細粒質水田化褐色森林土
新潟県大島村 [モノリス96]



細粒質ばん土質褐色森林土
静岡県天竜市 [モノリス90]



細粒質ポドゾル化褐色森林土
北海道豊富町



礫質ばん土質褐色森林土
栃木県南那須町 [モノリス105]

I1 褐色森林土

様々な褐色森林土群（その2）



細粒質下層赤黄色褐色森林土
高知県土佐山田町



細粒質台地褐色森林土
北海道雄武町



高知県土佐山田町森林技術センターの森林